

テクノロジーと地域創生をテーマとした 教育事業の確立へ

天野 浩史

大正大学 地域構想研究所 藤枝支局

藤枝市は、株式会社ソフトバンクと提携した IoT 通信基盤ネットワークの構築や、仕事を発注したい企業と受注したい個人をつなぐマッチングサービス「藤枝くらシェア」の展開など、ICT を活用したまちづくりを推進する先駆的な自治体である。令和2年3月に策定された『第2期ふじえだ健康都市創生総合戦略（藤枝市まち・ひと・しごと創生総合戦略）』にも ICT を掛け合わせた「コンパクトで輝きのある安全・快適・便利な「スマート・コンパクトシティ」の形成」を明確に謳い、Society5.0の到来を見越した未来志向のまちづくりを展開している。そのため、藤枝支局では支局立ち上げ当初から、ICT やテクノロジーを藤枝市特有の強みと捉え、地域創生学部の地域実習を通じて生成された知見を ICT 政策へ還元することを重点として活動を展開している。支局として3期目を迎えるにあたり、今年度は新たにテクノロジーと地域創生の教育領域で二つの事業に取り組んできた。

一つが、「藤枝未来型人材育成プロジェクト」への参画である。藤枝未来型人材育成プロジェクトとは、藤枝 ICT コンソーシアムの主催事業として今年度より立ち上がった事業であり、ICT のスキルや能力を高め、仕事をしたい求職者に学びの機会を提供し、人材を求める企業とのマッチングを進めるプロジェクトである。コンソーシアム会員企業である株式会社サンソフトが運営受託をしており、藤枝支局では企画段階から議論に参画し、筆者がアドバイザーとして講座の開発や受講生と企業向けのセミナー運営に取り組んできた。本来であれば受講生に対して対面形式で講座を提供する計画であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、急遽オンライン動画として撮影・提供する形式に切り替えられ、受講生は自分のペースに合わせた学習を行うことで ICT やマーケティングなどの知識、スキルを身につけてきた。次年度以降もカリキュラムをはじめとした学びのデザインにおいて、支局として関わっていく予定である。

藤枝未来型人材育成プロジェクト

基礎4 プロジェクト・マネジメント②
プロジェクトを円滑に進める
コミュニケーションマネジメント

天野 浩史 大正大学地域構想研究所
NPO法人ESUNE/一般社団法人ミライユ

© 2020 hirofumi.amano 1

参加 無料

※このセミナーは、個人事業主から企業まで幅広い層を対象に、地元企業と連携型プロジェクトを推進するためのイベントです。

※申し込みは、個人事業主から企業まで幅広い層を対象に、地元企業と連携型プロジェクトを推進するためのイベントです。

※申し込みは、個人事業主から企業まで幅広い層を対象に、地元企業と連携型プロジェクトを推進するためのイベントです。

地方から生まれ育った、人材との新しい出会い・関わり方を、ともに学びませんか？

未来型働き方セミナー

コロナ禍ではテレワークやワーケーションといった働き方をする人が増え、自分の得意なことを様々なカタチで活かす、社会に貢献するということも広まってきました。これまでの人材採用や就業の意識を変え、働き方の意識を高めることは、企業経営や地域に生き生きとした姿に繋がります。そこで、地域の働き手と企業が、会社や自身の「未来の働き方」を具体的にイメージできるイベントに参加してみませんか？

2021年 2月9日(火) 13:30~15:00

オンライン (Zoom)

1. セミナー：未来型働き方とは？
まずは「未来型の働き方とは何か」を事例を交えてお話しします。

2. ワークショップ：新しい仕事づくり
「私の得意な仕事は何か、会社でどう活かせるか?」、「この人の得意な仕事は何か?」を話し合えるワークショップです。「プロジェクト型の仕事づくり」を体験いただきます。

※Zoomで開催しますが、このセミナー参加料から追加料がかかりますが、ZOOMの接続料を免除します。参加の申し込みは2月10日15時前までです。ZoomミーティングIDは9300-20197-0000です。

天野浩史氏
天正大学地域構想研究所 研究員
NPO法人ESUNE 代表理事

※Zoomで開講しますが、このセミナー参加料から追加料がかかりますが、ZOOMの接続料を免除します。参加の申し込みは2月10日15時前までです。ZoomミーティングIDは9300-20197-0000です。

※Zoomで開講しますが、このセミナー参加料から追加料がかかりますが、ZOOMの接続料を免除します。参加の申し込みは2月10日15時前までです。ZoomミーティングIDは9300-20197-0000です。

※Zoomで開講しますが、このセミナー参加料から追加料がかかりますが、ZOOMの接続料を免除します。参加の申し込みは2月10日15時前までです。ZoomミーティングIDは9300-20197-0000です。

【2/9未来型働き方セミナー参加申込書】 FAX : 054-626-3371

貴社名
お名前
部署
お電話
メールアドレス

※個人情報は厳重に管理し、必要範囲で公開いたします。お問い合わせは事務局までお願いいたします。

主催：藤枝ICTコンソーシアム
後援：(株)サンソフト内 藤枝未来型人材育成プロジェクト事務局 TEL : 054-626-3366

もう一つは、大学生のマイプロジェクト支援である。地域における活動を授業内で完結させるだけでなく、授業外でも継続させたい、発展させたいという大学生は少なくない。そこで、2年前から藤枝市で展開している内閣府学生対流促進事業の流れを受け、大正大学3年生のプロジェクト支援を今年度実施した。学生Aを現地法人「一般社団法人ミライヌ」のディレクター（学生インターン）として迎え、「地域愛発見サイト ジブンドコ。」のプロトタイプ版 (<https://www.jibundoko.com>) を共同開発し、現在試験運用を進めている。「写真を見返して浮き上がる記憶が、まちと人のつながりを結びなおすのではないかとシビックプライド（まちへの誇り）の醸成につながるのではないかと」という学生Aの問いを探究するアクションリサーチとしての側面もあり、2021年2月には市民へのオンラインインタビューを通じたシビックプライド醸成の要因調査も行い、調査分析を踏まえサイトリニューアルを予定している。地域の受け入れ先から提供された課題に取り組む課題解決型の形式ではなく、参加側（学生A）の興味関心や実現したい目標を踏まえ、それを現実にするための社会資源のコーディネートをするマイプロジェクト型のプログラムとして、課題は多いものの、継続的にプログラム改良や大学生の受け入れを進めていきたい。

国が掲げるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進により、テクノロジーの進化・発展はより加速し、地方においては地方創生政策と融合しながら展開がされていく。その際、論点となるのは、テクノロジーと市民生活の共生のあり方や、人間がテクノロジーをどう活用していくかであろう。地方だからこそできるテクノロジーと地方創生の両立、またその人材育成プログラムの開発を重点テーマとして、藤枝支局では今後も展開をしていきたい。

